

コラム 27 ー伊藤博文の暗殺

伊藤は朝鮮民族主義者・安重根に暗殺される。というのが一般的な見方ではありますが、前九州大学大学院客員教授・教育学教授若狭和朋氏の著書「日本人が知ってはならない歴史」によると、「伊藤博文の命を奪った銃弾は安重根のものではない。

安重根はブローニング拳銃を 5 発発射しているが、伊藤の体内に残された銃弾はフランス騎兵銃の弾丸 2 発である。また、安重根は群衆にまぎれて発射しているにもかかわらず、伊藤が受けた弾丸は、上から打たれている。

晩年、伊藤は満州に米英を入れろと、繰り返していることから、米英が満州に入ってくることを嫌悪する、ロシアの勢力に殺されたと見る」という見解もあります。